

栃木県立がんセンター がん施設検診

当センターでは、がん専門病院の診療機能を生かしたがん施設検診を実施しております。
がんは、早期発見が大切です。家族の笑顔のために、がん検診受診をお勧めします。

＜検診コース・料金＞ (2023年4月1日現在)

検診コース	検査項目及び内容	料金(税込価格)
肺	胸部CT マルチスライスで、肺全体を連続的にX線撮影し肺の病変の有無を調べます。心臓や血管に隠れた肺がんや小さながんを発見するのにも有用です。	16,170円
	△ 喀痰細胞診 3日分の痰を採取して、がんを疑う異常な形の細胞の有無を調べます。	4,290円
甲状腺	甲状腺超音波 超音波を用いて甲状腺の形や大きさ、病変の有無を調べます。	3,850円
	△ 血液：甲状腺関連ホルモン (FT3、TSH、 TgAb 、 TPOAb) 血液検査で甲状腺機能を調べます。	6,340円
食道・胃	上部消化管内視鏡 内視鏡を用いて、直接食道・胃・十二指腸の病変の有無を調べます。	15,080円
	△ ヘリコバクタ・ピロリ菌 (糞便中抗原測定) 便を採取して、胃がヘリコバクタ・ピロリ菌に感染していないか調べます。	3,580円
肝・胆・膵	腹部超音波 超音波を用いて肝臓・胆嚢・膵臓などの病変の有無を調べます。	5,830円
	△ 血液：肝炎ウイルス関係 (HCV-RNA、HBV-DNA) C型肝炎・B型肝炎ウイルスに感染しているかを調べる検査です。	10,050円
大腸	下部消化管内視鏡 内視鏡を用いて、直接大腸の病変の有無を調べます。 ※鎮静剤を使用しなかった場合は、一部返金あり。	前処置薬料金 2,030円 鎮静剤使用時検査料金 20,790円
	便潜血 便を2日分採取して、消化管からの出血の有無を調べます。	1,710円
	血液：腫瘍マーカー (PSA) 前立腺がんを発見するための検査です。	3,790円
乳腺	マンモグラフィ マンモグラフィは、乳房のX線検査です。しこりとして触れる以前の小さな乳腺組織の石灰化なども調べることができます。 乳房を片方ずつ板ではさみ、上下方向と斜め方向から圧迫して撮影します。	6,180円
	乳腺超音波 乳腺超音波は、超音波を用いて乳房の病変の有無を調べます。	3,850円
子宮頸部	子宮頸部細胞診・内診 子宮頸部細胞診は、子宮の入り口 (頸部) の粘膜の細胞を採取し、がんを疑う異常な形の細胞の有無を調べる検査です。 内診は、腔鏡を用いて子宮頸部の状況を観察し腫瘍の有無などを確認します。	4,290円
	△ ヒトパピローマウイルス核酸 (HPV) 子宮頸がんになる前の状態 (異形成) の原因となるウイルス (HPV) に感染しているかの有無を調べる検査です。	5,940円
口腔	顎X線・口腔内診察 歯および歯周組織、口腔粘膜、顎骨、唾液腺などの病変の有無を調べます。	7,590円

△の検査はオプション検査となります。

※遺伝性乳癌卵巣癌症候群の男性保因者検診を実施しています。

＜オプション血液検査・料金＞左記の検診コースに併せて受診いただけます。

血液検査	検査項目	料金 (税込価格)
一般A	貧血、肝・腎機能	3,750円
一般B	貧血、肝・腎機能、糖	5,740円
一般C	貧血、肝・腎機能、糖、脂質	7,500円

腫瘍マーカー	肺	食道・胃	肝・胆・膵	大腸	前立腺	乳腺	子宮頸部	料金 (税込価格)
CEA	○	○	○	○		○	○	3,520円
CA19-9	○	○	○	○		○	○	3,790円
AFP			○					3,540円
SCC	○	○					○	4,960円
CA125							○	5,620円
CA15-3						○		6,780円
PSA					○			3,790円

※腫瘍マーカーは、現在がんにかかっているかどうかを血液だけで診断できる検査ではありません。
腫瘍マーカー検査を受ける方は、左記の検診コースに併せて受診してください。

＜検診実施日＞

検診コース	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
肝胆膵 前立腺	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
肺	○	—	○	—	○	—	○	—	○	—
甲状腺	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
食道・胃	内視鏡	—	内視鏡	—	—	—	内視鏡	—	—	—
大腸	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
乳腺	○	—	○	○	○	○	○	—	○	—
子宮頸部	○	—	—	—	—	—	○	—	○	—
口腔	○	—	—	—	—	—	—	—	○	—

＜注意事項＞

検診の対象は、自覚症状のない方、妊娠中または妊娠の疑いがない方です。

※ご希望の検診部位に関して自覚症状のある方や健診などで要精密検査又は要治療となっている方は、医療機関を受診してください。また、現在、定期的な治療又は経過観察中の方は、かかりつけ医療機関の外来を受診してください。

X線検査受診上のご注意

- ・心臓ペースメーカー等をご使用の方は、胸部CT・マンモグラフィ・顎X線の受診はできません。
- ・豊胸手術・授乳中の方は、乳腺検査は受診できません。断乳後間もない方はご相談ください。

消化管内視鏡検査受診上のご注意

- ・ご予約時に問診が必要となります。また、内服治療中の方は検診受診に際し、主治医の承諾を得ていただく必要があります。詳細についてはお問い合わせください。
- ・「消化管内視鏡検査についての説明」をお読みいただき、同意書への署名が必要となります。
- ・上部消化管内視鏡検査において、詳しく調べた方が良く判断されたときは、同意のもとで表面の粘膜を一部採取して (生検と呼んでいます) 顕微鏡を用いて調べます。その場合、保険診療料金でご請求いたしますので必ず健康保険証をお持ちください。
- ・下部消化管内視鏡検査において、検診当日の治療は行いません。検査の結果、要精密検査と判定された場合には、当院外来での治療または精密検査実施医療機関をご紹介いたします。検査当日は、朝から自宅で下剤を飲み検査の準備をしていただきます。

子宮頸部検査受診上のご注意

- 以下の方は受診できません。医療機関で診察、治療・経過観察を行ってください。
- ・子宮筋腫など婦人科疾患の治療
 - ・定期的な観察を実施している (ホルモン療法・不妊治療を含む)
 - ・避妊リングを使用している
 - ・不正出血がある
 - ・性交渉未経験の方はご相談ください

Q：がん検診は必要ですか？

がんは日本人の死因のトップであり、年間37万人以上の方が、がんで亡くなっています。しかし多くのがんは早い時期に見つけ、治療すれば治ります。がんは早期発見が大切です。肺がんや胃がん、大腸がんや女性の乳がんなどの多くのがんは40歳を越えると増加してきます。40歳を過ぎたらがん検診受診をお勧めします。

また、子宮頸がんは20歳を越えると増加してきます。20歳以上の女性の方は、子宮頸がんの検診をお勧めします。

がんの種類によってはがんの既往のある方は別のがんにかかるリスクが高いことが知られています。また、両親や兄弟、姉妹ががんの方は、同じがんになるリスクが高いこと、ヘビースモーカーの方や糖尿病の方は、そうでない方よりがんになりやすいことが知られています。このようないわゆるハイリスクに該当する方は、がん検診受診をお勧めします。

Q：肺がん検診で、喀痰検査も受けた方がよいですか？

喀痰検査は、痰を採取してがんを疑う異常な形の細胞の有無を調べる検査です。喫煙者は肺の入口に近い気管支（空気の通り道）にがんができることがあり、この検査で調べます。喫煙者（過去における喫煙者を含む）の方にお勧めします。ただし、痰が出ないと検査はできません。

Q：乳腺超音波検査とマンモグラフィ検査のどちらを受けた方がよいですか？

女性のがんで最も多いのが乳がんです。乳がんにかかる人は30歳より増加し始め、40歳代で最も多くなります。30歳を過ぎたら、女性の方は早期発見のできる乳がん検診受診をお勧めします。

若年の方は乳腺が発達しているため、マンモグラフィ検査ではしこりが乳腺の中に隠れてしまい、はっきりとしないことがあります。乳腺超音波検査では乳腺が発達した方のしこりも検出することができます。そのため、若年の方は、乳腺超音波検査をお勧めします。

40歳以上の方では、乳腺超音波検査とマンモグラフィ検査を併用することで乳がんの発見を向上させることができますので、併用検査をお勧めします。

Q：子宮頸がん検診で、HPV検査も受けた方がよいですか？

HPV検査は、子宮頸がんだけではなくがんになる前の状態（異形成）の原因となるウイルス（HPV）に感染しているか調べる検査です。子宮頸部細胞診検査と併用することで、異形成の診断精度を向上させることができます。HPVに感染した状態が長く続いてしまうと、異形成になることがあります。異形成の程度が強くなり、更に進行するとHPV感染から約10年でがん細胞に変化してしまうこともあります。そのため、HPVに感染した段階や異形成の段階で、早く気づいて進行しないかどうかしっかり見張っていくことが大切です。

Q：PSA検査（前立腺腫瘍マーカー）は、何歳から受診した方がよいですか？

前立腺がんは男性が3番目に多くかかるがんで、近年急速に増加しています。また、前立腺がんは年齢が高くなるにつれ、かかる可能性が高くなります。50歳を過ぎたら前立腺がん検診受診をお勧めします。

ご家族に前立腺がんにかかれた方がいる場合は前立腺がんになる危険が高くなることが知られています。対象にあたる方は、40歳からの検診受診をお勧めします。

Q：口腔がん検診を検討しています。どんな人が口腔がんになりやすいですか？

咽喉がん、食道がん、胃がんの既往がある方や喫煙や飲酒の嗜好がある方は口腔がんにかかるリスクが高く、年に1回程度の定期的な口腔検診をお勧めします。

舌や下顎歯肉、頬粘膜などに生じる口腔がんは、高齢化に伴い口腔がん罹患患者数も増加傾向にあります。

～お願い～

当センターでは、病院外来において検診を実施しておりますので、お待ちいただくことがございます。予めご了承ください。



地方独立行政法人栃木県立がんセンター がん施設検診のご案内



検診ご希望の方は、電話または来院にてお申込みいただけます。

【申込み及び問い合わせ先】

地方独立行政法人栃木県立がんセンター

検診受付 Tel. 028-658-5151(代表)

平日 9:00～15:30(土日・祝祭日・年末年始を除く)

当院のがん施設検診の
詳しい情報はこちらから
<https://www.tochigi-cc.jp/>

